

Hiking — ハイキング —



イーサン・フラック
Ethan Flack
アメリカ出身

私がニューヨークにいる家族や友達に田舎に住んでいると伝えると、皆何か楽しめることはあるのかと尋ねます。私はできるだけフリータイムはアウトドアを楽しんでいると答えます。私が松浦に着任した8月は、暑くて外で過ごすのは大変でした。しかし、季節が夏から秋、秋から冬に変わるとこの気候は私の大好きな趣味であるハイキングに向いていることに気がきました。

子どものころ、よく家族や友達とハイキングに出掛けました。最も思い出に残っている休暇は、家族で有名な国立公園に出掛けたことです。ワイオミング州のグランドティートンとイエローストーン国立公園、モンタナ州グレーシャー国立公園やアリゾナ州のグランドキャニオンを訪れ、自然を楽しみながら歩いたことを幸運に思っています。これらの経験を通して、私は自然界の小さな出来事を観察することがとても好きになりました。

外国人は、日本の国土の75%が山だということに驚きます。初心者が楽しめるたくさんの小さい山、そして上級者も楽しめる大きな山もある日本はハイキングを愛する者にとってはパラダイスといえます。

私はハイキング中に素晴らしい経験を多くしました。登山道で出会ったすべての日本人はとても優しく、私が案内板が読めなくて困っていたら、正しい方向を指さして教えてくれます。おかげで、新しい山や登山道の発見を続けることができます。北松地区の多くの山々は登ってみたので、次はもっと大きな九州の山を登ってみたいと思っています。

今のところ、私が気に入っているのは、有田の黒髪山です。頂上の天童岩からは佐賀県の素晴らしい景色が見渡せます。

では、皆さん、登山道で会いましょう！



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『花燃ゆ 1』

大島里美・宮村優子／作
五十嵐佳子／ノベライズ
NHK出版

長州・萩の下級武士、杉家の四女・文は、破天荒な兄・吉田寅次郎（松陰）を支え、家族とともにさまざまな困難を乗り越えていきます。やがて時代は幕末の動乱へ。2015年NHK大河ドラマの放送台本をもとにした小説です。



『里見家の宝をさがせ！』

歴史探偵アン＆リック
小森香折／作、染谷みのる／絵
偕成社

杏珠が引っ越してきたお屋敷には、家訓が三つ。転校先で出会った変人・陸は、それが「八犬伝」で有名な大名、里見家の家宝に関係しているといいます。かみ合わない二人は、お宝を見つけ出せるのでしょうか。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



御厨町里免の高島彩花さん（10歳）と蓮花ちゃん（5歳）

【お気に入りの本】

『のろいのタロットカード』 木暮正夫・国松俊英／編 山本孝／画 岩崎書店
『コアラのクリスマス』 渡辺鉄太／さく 加藤チャコ／え 福音館書店

【お母さんからひとこと】

絵本を読んでいる時間は、私たちにとって大切なスキンシップやコミュニケーションの時間です。この大切な時間と温かな気持ちをずっと忘れないようにしたいと思っています。そして、娘たちが母になった時に、今の素敵な時間を思い出してくれたらうれしいです。これからもたくさんの本に触れ、子どもたちとの大切な時間を楽しみたいと思います。

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館をお待ちしています！

長崎県体育協会体育功労者表彰

吉元豊さん（御厨・泉、74）が長崎県体育協会体育功労者表彰を受賞しました。

吉元さんは昭和53年に日本ソフトボール協会第3種公認審判員資格、昭和58年に日本ソフトボール協会第1種公認記録員資格を取得され、約40年の長きにわたりソフトボール競技の普及と発展に努められました。

平成17年から松浦市ソフトボール協会記録委員長および長崎県ソフトボール協会記録副委員長を歴任され、市内大会はもとより、県大会でも中心的な存在として活躍。記録の技術向上と若手育成においても広く普及に尽力された功績により表彰されたものです。

また、地元チーム創設に携わり、選手兼監督としても活躍されるなど、地域スポーツの振興に大きく貢献されています。



人命救助表彰（水難救助）

星鹿町青島免で発生した水難事故における人命救助表彰式が12月14日、松浦市消防本部で行われ、崎村倭人君（青島小3年）と大石信弥教諭（星鹿・青島）に前田消防長から表彰状と盾が渡されました。

事故は10月28日の午後発生。青島港付近で遊んでいた園児が誤って海に転落し、近くにいた崎村君がたも綱をつかませ助けようとしたところ、通り掛かった大石教諭が異変に気づき2人で園児を海から引き上げました。

崎村君は、「びっくりしたけど、助けることができ、良かったです」と救助できた喜びを話しました。



わたしたちの郷土

— 106 巻 —

中世の松浦（72） 鷹島海底遺跡

1月24日（土）から3月22日（日）まで兵庫県たつの市立埋蔵文化財センターにおいて「謎のパスパ文字と光明山」特別展が開催されます。

たつの市と相生市にまたがる光明山には、中世の山岳寺院と山城の遺構があります。平成24年に光明山から中国元代に使われたパスパ文字が入った陶器が発見されています。これまでに国内でパスパ文字の入った土器が見つかったのは、沖縄県八重山郡竹富町の新里村東遺跡と那覇市の渡地村跡の2例があるのみです。

この特別展では、光明山に関する資料や国内出土のパスパ文字に関する遺物が展示されます。なぜこのような陶器が光明山から見つかったのか、その謎について考える展示となっています。

なお、パスパ文字とは、元の皇帝フビライ・ハンが1269年にチベット人僧侶パスパに命じて国字として作らせた文字です。それまでモンゴルでは独自の文字を持っていなかったことから新しい文字を作り、モンゴル帝国の基盤の一つとしようとしたことが、公布後100年程度で使われなくなってしまうのです。

この特別展に、松浦市から鷹島海底遺跡出土の至元十四年（1277）と印面にパスパ文字が刻まれた菅軍総把握印のほか「てつはう」・大椀・鷹島の航空写真の画像など合わせて12点を貸し出しています。

この特別展に関しては、たつの市立埋蔵文化財センターまでお問い合わせください。

☎ 07991・75・5450



▲ たつの市立埋蔵文化財センター外観（同センター提供）